

おほともすくね やかもち
大伴宿禰家持、更に紀女郎に贈る歌五首

七七七番

我妹子が やどのまがきを 見に行かば けだし
門より 返してむかも

七七八番

うつたへに まがきの姿 見まく欲り 行かむ
と言へや 君を見にこそ

七七九番

板葺の 黒木の屋根は 山近し 明日の日取りて
持ちて参る来む

七八〇番

黒木取り 草も刈りつつ 仕へめど いそしきわ
けと 褒めむともあらず

七八一番

ぬばたまの 昨夜は返しつ 今夜さへ 我を帰す
な 道の長手を